

人財が集まる社風づくり、朝礼づくり ～全員経営への道筋～

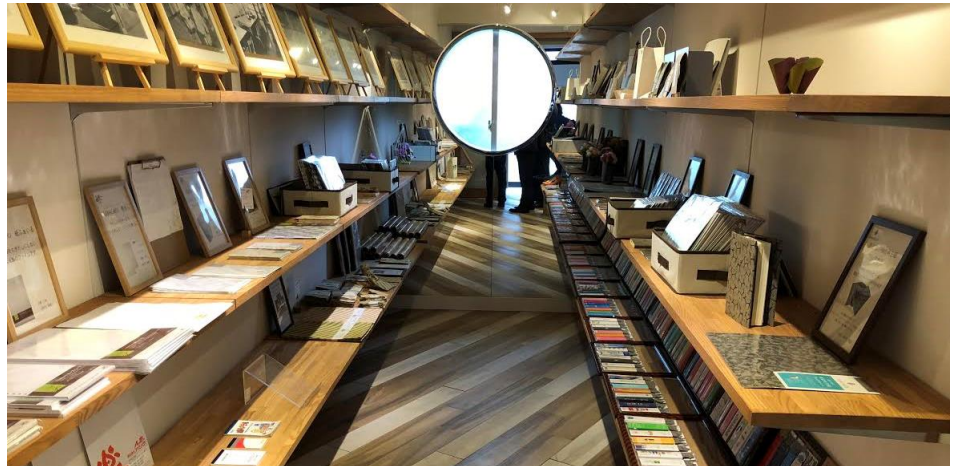
7月例会開催を終えて

7月24日（火）山陽製紙株式会社専務取締役であり、日創研南大阪経営研究会、本部ありがとう経営推進・実践委員会レクチャラーの原田千秋講師をお迎えして、いしかわ総合スポーツセンターにて、「ありがとう経営の実例に接することで、ありがとうに満ちた業績向上に繋がる職場づくりを推進し、導入への意欲を高めていただく」という主旨・目的で7月例会が行われました。



全員経営のためには

原田講師の講演では過去の事例やこれからのビジョンが示され、「全体経営」の必要性などを熱く語っていただき、例会中盤には宮下印刷様による13の徳目朝礼のデモンストレーションが行われ、落ち着いた、和やか中にも真剣な雰囲気、社員さんへのインタビューを交えた例会の進行は素直な現場の意見を聞くことができ、宮下社長の感想からは社員さんの成長



ぶりに嬉しさと感動が滲み出ており、徳目朝礼の良さが会場に来て下さった皆様にさらに伝わったのではないかと思います。

例会前のベンチマークにお伺いした時に原田講師は「社内の活性化のためにはコミュニケーションが大事、それがありがとう経営の導入につながる」と言われていました。理念を浸透させる場としても朝礼は非常に有効であり、新商品開発に社員さんの力が存分に発揮できたのも、徳目朝礼による理念の浸透があればこそです。



今年、北九州で行われました全国大会にて田舞代表がこれからの働き方改革を乗り切るためにも三

位一体による「全員経営」が大切だと講演されていました。原田講師も徳目朝礼こそ「全員経営」を実現させるために必要なものだと認識され、サブタイトルにも付け加えるほど、これからの難局を乗り越えるためには必要なツールであるという講師の強い思いを感じることができました。

例会翌日は当委員会松尾副委員長の会社で原田講師と角谷会長と共に経営相談を行い、その後、講

徳目朝礼の実践

師が東京に向かわれるとあって2時間程度の経営相談でしたが、決算書から見えてくる経営内容への講師のアドバイスには堅苦しさが全くなく、とてもリラックスした中で行われました。終了後講師を送る道中、より好意的に徳目朝礼を広めるにはどうすれば良いか、など個人的な悩みも含めてマンツーマン相談の贅沢な時間を頂きました。個人的悩みはさておき、徳

目朝礼に関しては、型にはまる必要はなく社風に応じた導入、やり方を考え、あとは経営者の決断あるのみと教えていただきました。

個々人の意見や考え方を尊重、承認し、感謝力を身に着ける徳目朝礼は人財育成には有効なのですが、それでも導入に踏み込めない方もいるのが現状で、あの独特な雰囲気についていけない、考えるのがしんどい、社員の抵抗、社風に合わない。ご意見を伺っているとその理由は色々が、いずれにしても業績を上げたい、会社を良くしたいという気持ちの上では一致していると思いますし、まずはやってみること。それにはトップの決断が必要だと感じました。

この度の7月例会では至らぬところも多々あったと思います。原田講師をはじめ、石川経営研究会の理事の皆様、会員の皆様、委員会メンバーの多大なるご支援を賜り、無事に終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(ありがとう経営推進委員会
委員長 沖田 展幸)



「徳目朝礼」発表者の声

大勢の人の前でデモンストレーションをするという貴重な体験をさせていただきまして大変記憶に残る出来事でした。

又仲間との関係もいつもより、一つになっているように感じることもできました。

参加させていただいてありがとうございました。

(ディレクション営業/荒木)

「例会で13の徳目朝礼のデモ!？」と不安一杯で引き受けましたが、発表が終わった後の達成感は格別のものでした。

仲間と力を合わせてやるって最高ですね。素敵な経験をさせていただきありがとうございました!

(総務・経理/島)

朝礼発表会では、凄くいい経験ができ、これからの自信にも繋がりました。

それともう一つ、いろいろな会社の朝礼を見たいと思いました。見て学び、いいものは取り入れて、常に中身の濃い朝礼にしていきたいと思います。

(印刷・製本・工務/能口)

大勢の前で発表することに慣れておらず緊張していましたが、発表を終えた時の気持ちの良い達成感や自分自身の成長が感じられてとても良い経験になりました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

(デザイナー/北村)

声を掛けていただいたその瞬間、社員さんの顔が浮かびました。え〜、本当ですか〜?!という反響です。そして、会議で恐る恐る打診してみると、一つ返事でOKをもらいました。この時は本当にありがたいと思いましたし、社員さんを誇りに思いました。

思い起こすと、5年前のTT研修で導入を進められました。当時間も躊躇していたのを思い起こします。

しかし、継続は力なり、弊社の社風の源泉は、毎朝の「13の徳目朝礼」と断言できます。年月を重ねるにしたがい、傾聴力・質問力・承認力がついてきたと思います。そして、13の徳目10月号では、企業事例にもとりあげていただきました。社員さんへの感謝の言葉しか思い浮かびません。

(代表取締役社長 宮下光信)